

平成 27 年度 第 1 回長野市環境審議会 議事録

- ・ 日 時：平成 27 年 11 月 5 日（木）午前 10 時から午前 11 時 30 分まで
- ・ 場 所：長野市役所第一庁舎 3 階 第一会議室
- ・ 出席者
委 員：大澤会長、青木委員、久保田委員、小木曾委員、金井委員
宮島委員、井出委員、伊藤委員、駒村委員、清水委員
高木長野市環境審議会温暖化対策専門部会長
事務局：井上環境部長、小林環境政策課長、宮尾課長補佐、山岸課長補佐、
鈴木係長、辻主査、吉岡主査、酒井主事
報 道：2 名

《 資料 》

- 資料 1 平成 26 年度長野市地球温暖化対策地域推進計画の進捗状況について
 - 資料 2 - 1 平成 26 年度エネルギー使用量について
 - 資料 2 - 2 平成 26 年度取組の結果について
 - 資料 2 - 3 平成 26 年度マネジメントレビューについて
 - 資料 2 - 4 平成 27 年度目標値の設定について
 - 資料 3 - 1 (仮) 第二次長野市環境基本計画後期計画の策定について (案)
 - 資料 3 - 2 (仮) 第二次長野市環境基本計画後期計画策定の進め方について
- 長野市地球温暖化対策地域推進計画
第二次長野市環境基本計画(本編・概要版)

1 開 会

2 あいさつ 大澤会長

3 委員の紹介等

4 諮問

第二次長野市環境基本計画の改定について

5 報告

(1) 長野市地球温暖化対策地域推進計画の進捗状況等

- ・ 平成 26 年度長野市地球温暖化対策地域推進計画の進捗状況について

冊子（長野市地球温暖化対策地域推進計画）及び資料 1 について説明（高木長野市環境審議会温暖化対策専門部会長）

（清水委員）

資料の中の電力係数について平成 17 年の係数が使われていて、現在は平成 27 年

であり係数自体も年々変化していると思いますが、このまま平成 17 年の係数を使っていくのでしょうか。

(高木部会長)

使用する電力係数については部会内でも議論があったところで、年毎に変化していることも承知していますが、最終的に市民に理解をしていただくことに重きを置いた時に、固定された係数を使う方針になりました。年毎に変化する係数によるデータも常に意識をし、どちらで表記をするべきか考えています。

(駒村委員)

方針 1 の太陽光についての進捗が他に比べて低い理由を教えてください。

(事務局)

電力の買取価格の低下、消費税の増税、震災によって発電設備への設備投資を優先できなくなった事情、事業所については、グリーン投資減税の制度改正による市町村や都道府県等への補助金申請数の減少が理由と考えられます。

(大澤会長)

累計数値と実績数値とがあって、年毎に変化する数値を一目でわかりやすいような表記をと考えますがいかがでしょうか。

(高木部会長)

検討させていただきます。

・ **長野市地球温暖化対策地域推進計画の見直しについて**

今後の見直し予定について説明 (事務局)

(2) **平成 26 年度 NEMS 報告について**

・ **平成 26 年度 エネルギー使用量について**

資料 2-1 について説明 (事務局)

・ **平成 26 年度 取組の結果について**

資料 2-2 について説明 (事務局)

・ **平成 26 年度 マネジメントレビューについて**

資料 2-3 について説明 (事務局)

・ **平成 27 年度 マネジメントレビューについて**

資料 2-4 について説明 (事務局)

(井出委員)

進捗結果の表の、25 番のバイオマス熱利用の項目で、目標達成に○がついているが、実績の数値は目標値に達していないので、累積の数値ではないということでしょうか、資料 2-4 には 208 となっていますので。

(事務局)

申し訳ありません。確認をさせていただきます。

(駒村委員)

資料2-2の23番の太陽光発電設備規模の部分で、平成26年度の目標値より平成28年度の計画目標値が小さくなっていますが、平成28年度の数値の方が大きくなるのではないかと思います、理由を教えてください。

(事務局)

計画目標値は平成24年度の第二次長野市環境基本計画策定時に設定された数値で、この項目の実績数値につきましては、早い段階で計画目標値に達していましたので、さらに高い目標値を設定しているということです。

(井上部長)

補足いたします。

今担当の方から説明いたしましたのは、目標達成したからそれでいいということではなく、毎年毎年更にどれくらい増やしていくかという単年度の目標を立てていますので、この評価は単年度の目標に対する評価結果であるとお受けとめいただければと思います。

(大澤会長)

エネルギー使用量の年推移を見ますと、平成22年度は信州新町等合併で増加があったものの、それからずっと右肩下がり非常に努力されているなという印象を受けます。

(井上部長)

今、大澤会長の方から努力の結果だとお褒めに近いお言葉をいただきましたが、エネルギー使用量につきましては、例えば電気とプロパンガスの部分に記載があります総合レクリエーションセンターの閉鎖による減について、これはサンマリーンながののことで、施設が閉鎖されたことによってエネルギー使用量が減少したものです。

平成28年度中に新たな余熱利用施設を建設する方向で進めていますので、新たな施設が完成するとエネルギー使用量が増えてしまう可能性があると考えています。

しかしながら、エネルギー使用量の削減に向けて、精一杯努力させていただきます。

(金井委員)

今度の焼却施設には、発電設備が付くと思いますが、その場合の差し引きの計算に対してはどのようにお考えですか。

(井上部長)

差し引きはしないで、あくまで使用量の計算をします。

(小木曾委員)

資料2-2の①のゴミの年間総排出量や家庭ごみの排出量について、平成26年度の目標値と実績値がほぼ同じ数値であるということは何故でしょうか。

(井上部長)

平成 28 年度の計画目標値は、環境基本計画である目標値でもありますし、担当課である生活環境課では、ゴミの減量に向けた計画を立てていまして、その目標値とも一致しています。

平成 26 年度の目標値は、平成 28 年度の計画目標値に対して毎年段階的に減らし、この計画目標値を目指して設定したものです。

神城断層地震の影響で、直接市の職員が被災された所へ震災ゴミの回収に行った際の量は把握できますが、集積所へ通常の収集に出された震災ゴミの正確な量の把握はできませんが相当量あったと思われます。

それを考えると地震がなければ目標値よりも下回ったのではないかと思われます。

(井出委員)

来年くらいからスマートメーターの導入が加速されるようですが、長野市の場合この資料の中にスマートメーター等の表現が全くありませんが、どのようにお考えですか。

(小林課長)

スマートメーターにつきましては、まだ表に出てくる状況ではなかったと思いますが、増えてくるのではないかと考えています。

今回諮問をして新しく計画を立てていく中で、指標目標については今後考えていかななくてはならないと考えています。

第二次長野市環境基本計画や現在の長野市総合基本計画の中には、まだ入ってきていないというのか現状でございます。

(井出委員)

取り組み結果⑤の太陽光発電施設の公共施設・事業所等の平成 26 年度実績が 7,291kw、それと比較する意味で見た場合に地球温暖化対策地域推進計画施策一覧の 1-1 の太陽光発電設備規模において、事業所・法人累計については約 490kw と市有施設が約 1,000kw で、この合計との差が市以外の施設が追加されてこの数字になっているのかという点と、地球温暖化対策推進計画のように事業所と公共事業と分けて指標を設けることが可能かどうかという点の 2 点について、宜しく願いいたします。

(吉岡主査)

地域推進計画の方の数字は、事業所・法人累計につきましては、市の補助金を利用された件数を元に集計をしています。

一方市の施設につきましては、内部の事業ですので、これについては別途正確に積み上げをしたものを載せています。

基本計画の方ですが、事業所の件数につきましては、新聞記事等でメガ・ソーラーの設置の記事と大規模な発電施設の記事と記載されたものを拾いまして積み上げたものも含まれています。

最近では F I T の情報公開とあわせて、メガ・ソーラーの設置が珍しくなくなっ

てきたことから、報道に載った記事を拾いづらくなったという部分もあり、この数字が厳密に正確な積み上げなのかと言いますと、若干の不安もございます。

これらのことを含めまして、今後両計画を見直していく中で、指標については情報公開された部分を利用するように切り替えるのか、検討していきたいと考えています。

(井出委員)

ある程度リンクさせる方向でということによろしいですか。

(井上部長)

なかなか難しいのが、市で把握できていない部分があるということで、国の方でも公表する方向で動いていただいていますので、そのような数字が使えるようになればまた新たな目標値、あるいは実体をもっと明確に見えてくると思われま

(井出委員)

わかりました。市の方はよくわかるので、ピックアップして分けていただければ、それだけでもかなり見えてくると思います。

(井上部長)

わかりました。

6 会議事項

(1) (仮) 第二次長野市環境基本計画後期計画の策定について (案)

資料3-1、3-2について説明(事務局)

(金井委員)

計画の表の中に長野環境パートナーシップ会議からの意見提案とあるんですが、位置づけ等どのように考えていますか。

(事務局)

具体的な時期や内容につきましては未定ですが、環境活動をしている団体の皆様の代表として、長野環境パートナーシップ会議の皆様のご意見をお聞きしていきたいと考えています。

(金井委員)

指標・目標について、数値化できる方法を検討していただいて、毎年振り返りができ、時代の変化に対応した作り方をしていただきたい。

(井出委員)

長野市第五次総合基本計画と長野市地球温暖化対策地域推進計画の計画年度について教えてください。

(事務局)

長野市第五次総合基本計画につきましては、平成29年4月からの5ヵ年計画とな

っています。

(事務局)

長野市地球温暖化対策地域推進計画につきましては、検討していく部分ではありますが、第五次長野市総合基本計画や第二次長野市環境基本計画後期計画に合わせて5ヵ年計画と考えています。

7 その他

・意見なし

(事務局)

事務局からの連絡として、次回の環境審議会は平成28年2月下旬を予定している。

8 閉会